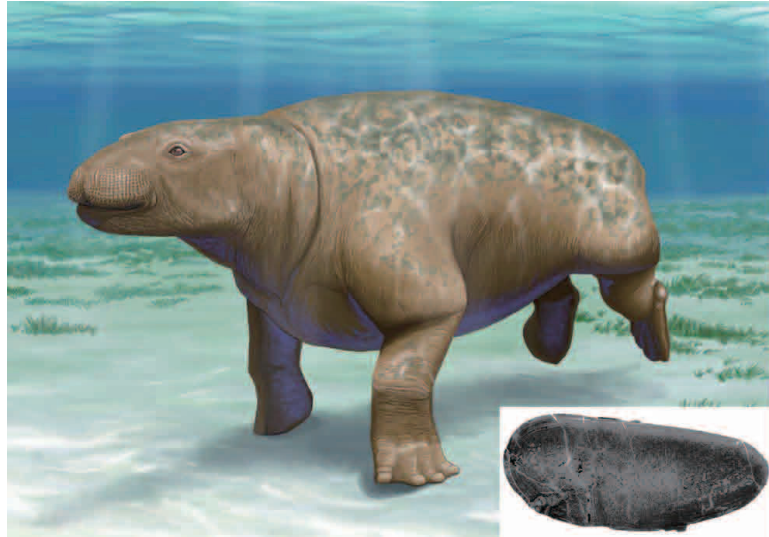
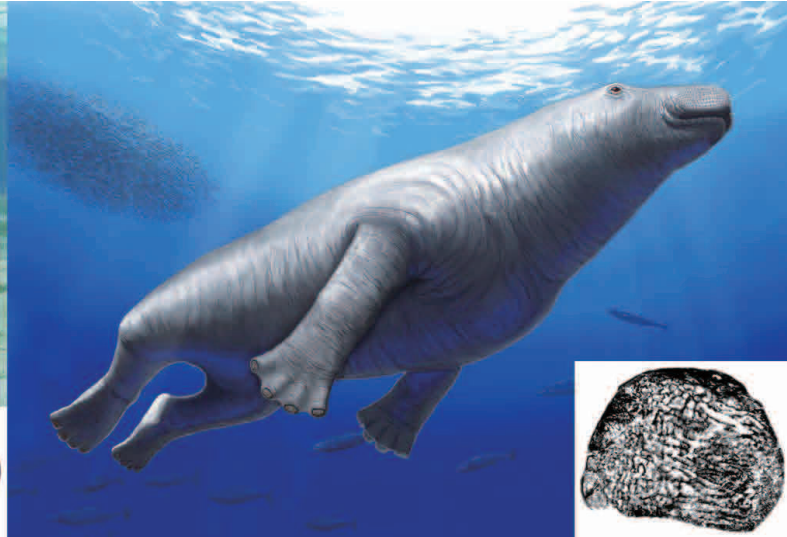


アショロアはゆったり、 デスモスチルスはスイスイ

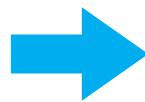


「安定型」のアショロアと緻密な内部構造の肋骨



「活発型」のデスモスチルスと海綿状の内部構造の肋骨

動物の骨の内部構造から、
どんなことがわかるの？



動物の暮らしていた場所や、泳
ぎ方の違いなどがわかる！！

アショロアやデスモスチルスの骨の内部構造を調べた結果、アショロアやベヘモトプスの骨は緻密（中が詰まっている）で重く、デスモスチルスの骨は海綿（スポンジ）状で軽いことがわかりました！

この結果はアショロアやデスモスチルス（束柱類）が陸生や半水生の動物ではなく、ほぼ水生の動物であったことを示しています。

また、アショロアやベヘモトプスの泳ぎ方は、ジュゴンやマナティー（カイギュウ類）のように「安定型」で、デスモスチルスはアザラシやクジラのような「活発型」の泳ぎをしていたことがわかりました。

この研究は新聞やインターネットでも紹介されました。

論文

Hayashi et al., 2013, Bone Inner Structure Suggests Increasing Aquatic Adaptations in Desmostylia (Mammalia, Afrotheria). PLoS ONE
<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0059146>